



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年11月6日

上場会社名 コタ株式会社 上場取引所 東証第一部
 コード番号 4923 URL http://www.cota.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)小田 博英
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経理部長 (氏名)廣瀬 俊二 TEL (0774) 44-4923
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の業績 (平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	2,593	4.1	284	23.6	295	21.2	214	25.4
29年3月期第2四半期	2,490	△3.6	230	2.8	243	9.7	171	9.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	13.94	—
29年3月期第2四半期	10.79	—

(注) 当社は、平成29年4月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を行っております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	7,948	6,390	80.4
29年3月期	9,108	7,048	77.4

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 6,390百万円 29年3月期 7,048百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	18.00	18.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成29年4月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を行っております。

3. 平成30年3月期の業績予想 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,750	3.0	1,150	△6.5	1,171	△5.0	813	△6.4	52.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

30年3月期2Q	16,900,691株	29年3月期	16,900,691株
30年3月期2Q	1,591,876株	29年3月期	1,037,634株
30年3月期2Q	15,401,315株	29年3月期2Q	15,865,136株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

(注) 当社は、平成29年4月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を行っております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、さまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(会計上の見積りの変更)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善を背景に、引き続き緩やかな回復基調で推移いたしました。

一方で、美容業界におきましては、来店客数の減少や客単価の伸び悩み等、依然、美容室にとって厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社におきましては創業精神である「美容業界の近代化」をベースに、独自のビジネスモデルである「旬報店システムを軸としたコンサルティング・セールス」と「トイレタリーの販売を中心とした店販戦略」を引き続き展開し、美容室の業績向上に向けた提案や経営に関する支援を行いました。

売上高につきましては、主力となるトイレタリーの販売が好調であったことから、前年同四半期を上回りました。

また、売上原価につきましては、増収により増加いたしましたが、引き続き原価管理の見直し等を行っていることから、原価率は、前年同四半期と同水準となりました。販売費及び一般管理費につきましては、基幹システムの再構築に伴う減価償却費の増加等により、前年同四半期を上回りました。

これらの結果、当第2四半期累計期間の売上高は2,593百万円（前年同四半期比4.1%増）、営業利益は284百万円（前年同四半期比23.6%増）、経常利益は295百万円（前年同四半期比21.2%増）、四半期純利益は214百万円（前年同四半期比25.4%増）となりました。

なお、当社は美容室向け髪髪用化粧品、医薬部外品の製造、販売事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の開示は行っておりませんが、売上高の内訳は、以下のとおりであります。

区分	前第2四半期累計期間		当第2四半期累計期間		増減額 (百万円)	増減率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)		
トイレタリー	1,723	69.2	1,782	68.8	59	3.4
整髪料	397	16.0	427	16.5	29	7.4
カラー剤	149	6.0	176	6.8	26	17.8
育毛剤	104	4.2	99	3.8	△4	△4.7
パーマ剤	54	2.2	50	1.9	△4	△7.5
その他	60	2.4	57	2.2	△2	△4.8
合計	2,490	100.0	2,593	100.0	103	4.1

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(総資産)

当第2四半期会計期間の総資産は、前事業年度から1,160百万円減少し、7,948百万円となりました。

主な要因としては、商品及び製品が195百万円増加し、現金及び預金が737百万円、受取手形及び売掛金が632百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間の負債は、前事業年度から502百万円減少し、1,558百万円となりました。

主な要因としては、未払金が439百万円、未払法人税等が200百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間の純資産は、前事業年度から658百万円減少し、6,390百万円となりました。

主な要因としては、自己株式が613百万円増加し、利益剰余金が44百万円減少したことによるものであります。なお、自己資本比率は、80.4%（前事業年度77.4%）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前事業年度末より1,037百万円減少し、925百万円（前年同四半期比519百万円減）となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、214百万円（前年同四半期比7百万円増）となりました。

収入の主な要因としては、税引前四半期純利益295百万円及び売上債権の減少632百万円であり、支出の主な要因としては、たな卸資産の増加189百万円、法人税等の支払いによる支出304百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、378百万円（前年同四半期比217百万円増）となりました。

支出の主な要因としては、定期預金の預入による支出300百万円及び有形固定資産の取得による支出62百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、872百万円（前年同四半期比633百万円増）となりました。

支出の主な要因としては、自己株式取得による支出613百万円及び配当金の支払いによる支出258百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の経営環境につきましては、企業収益の改善や堅調な雇用等、引き続き緩やかな回復基調で推移する一方、個人消費の持続的な回復に至るには、いまだ力強さを欠く状況である等、不透明な要素も多く、美容室の経営に影響する事態も想定されることから、当社の業績に影響を及ぼすことも考えられます。

当第2四半期累計期間の業績は、主力の「コタ アイ ケア」を中心としたトイレタリーの販売が好調であったことに加え、生産効率の向上や販売費及び一般管理費の各費目において、実績が当初の見込みを下回ったことから、増益を確保することができました。しかし、当社は営業戦略上、利益の構成比率は下半期のウエイトが大きく、上半期における利益額の構成比率は小さくなっており、通期業績に与える影響は小さいものと判断しております。

また、第3四半期以降につきましては、美容業界の繁忙期と重なることに加え、11月から12月にかけて当社製品の販売コンクールである「コタ全国店販コンクール」を開催しており、「コタ アイ ケア」を中心としたトイレタリーの需要増加を見込む一方で、当該コンクールの開催費用に加え、新設拠点に係る費用等の増加を見込んでいることから、平成29年5月9日に公表いたしました通期の業績予想に変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,662,697	2,925,668
受取手形及び売掛金	1,330,088	697,278
商品及び製品	459,069	654,715
仕掛品	10,400	8,756
原材料及び貯蔵品	170,707	166,369
その他	129,912	160,229
流動資産合計	5,762,876	4,613,018
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,113,346	1,075,512
土地	1,158,906	1,158,906
その他(純額)	215,744	237,320
有形固定資産合計	2,487,997	2,471,739
無形固定資産	247,610	221,527
投資その他の資産	610,384	642,245
固定資産合計	3,345,992	3,335,512
資産合計	9,108,868	7,948,531
負債の部		
流動負債		
買掛金	114,188	127,705
未払金	498,107	58,908
未払法人税等	330,000	129,403
賞与引当金	189,926	165,303
役員賞与引当金	—	14,028
販売奨励引当金	45,477	124,458
その他	203,868	207,507
流動負債合計	1,381,567	827,315
固定負債		
退職給付引当金	19,337	50,086
役員退職慰労引当金	532,240	551,476
長期預り保証金	127,028	129,228
固定負債合計	678,605	730,790
負債合計	2,060,173	1,558,105
純資産の部		
株主資本		
資本金	387,800	387,800
資本剰余金	330,825	330,853
利益剰余金	7,156,017	7,111,087
自己株式	△826,427	△1,439,946
株主資本合計	7,048,215	6,389,795
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	479	630
評価・換算差額等合計	479	630
純資産合計	7,048,695	6,390,425
負債純資産合計	9,108,868	7,948,531

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	2,490,288	2,593,503
売上原価	661,041	693,316
売上総利益	1,829,246	1,900,187
販売費及び一般管理費	1,598,956	1,615,625
営業利益	230,289	284,561
営業外収益		
受取利息	2,312	1,444
受取配当金	1,299	991
受取賃貸料	3,082	3,076
業務受託料	4,800	4,800
その他	2,861	2,126
営業外収益合計	14,355	12,438
営業外費用		
賃貸費用	758	1,187
その他	394	619
営業外費用合計	1,153	1,807
経常利益	243,492	295,192
税引前四半期純利益	243,492	295,192
法人税、住民税及び事業税	99,938	112,167
法人税等調整額	△27,603	△31,622
法人税等合計	72,334	80,545
四半期純利益	171,157	214,647

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	243,492	295,192
減価償却費	88,072	104,658
賞与引当金の増減額(△は減少)	△19,594	△24,623
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	14,178	14,028
退職給付引当金の増減額(△は減少)	—	30,748
前払年金費用の増減額(△は増加)	36,428	—
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	28,126	19,236
その他の引当金の増減額(△は減少)	77,428	78,981
受取利息及び受取配当金	△3,612	△2,435
売上債権の増減額(△は増加)	630,045	632,898
たな卸資産の増減額(△は増加)	△238,608	△189,663
仕入債務の増減額(△は減少)	40,199	13,517
その他	△409,623	△455,007
小計	486,531	517,532
利息及び配当金の受取額	1,527	1,508
法人税等の支払額	△281,177	△304,927
営業活動によるキャッシュ・フロー	206,881	214,114
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△300,000
有形固定資産の取得による支出	△18,158	△62,673
無形固定資産の取得による支出	△33,575	—
投資有価証券の取得による支出	△100,000	—
その他	△9,261	△16,121
投資活動によるキャッシュ・フロー	△160,996	△378,794
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△3,748	△613,593
自己株式の売却による収入	112	102
配当金の支払額	△235,234	△258,858
財務活動によるキャッシュ・フロー	△238,871	△872,349
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△192,986	△1,037,029
現金及び現金同等物の期首残高	1,638,607	1,962,697
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,445,621	925,668

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社は美容室向け頭髪用化粧品、医薬部外品の製造、販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。